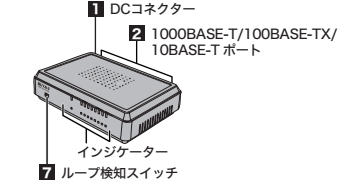
パッケージ内容

パッケージには、次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

□ 本体……1 台

1 DCコネクター
2 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T ポート
インジケーター
7 ループ検知スイッチ

インジケーター
6 ループ検知ランプ
3 リンク/アクティブランプ
LOOP検知
LINK/ACT
8 7 6 5 4 3 2 1
POWER
1000/100/10M
5 電源ランプ(POWER)
4 スピードランプ

1 DCコネクター
付属のACアダプターを接続します。

2 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T ポート
パソコン、ADSL/ケーブルモデムなどを接続するポートです。

3 リンク/アクティブランプ
ポートのリンク状態と動作状態を表示します。
点灯（緑）：リンク時、点滅（緑）：データ送受信時
1秒間隔で点滅（緑）：ループ検知時

4 スピードランプ
点灯：（緑）1000M 動作時、（橙）100M 動作時
消灯：10M 動作時、1 秒間隔で点滅（緑 / 橙）：ループ検知時

5 電源ランプ（POWER）
電源の ON/OFF の状態を表示します。
点灯（緑）：電源 ON 時

6 ループ検知ランプ
ネットワークのループの有無を表示します。
1 秒間隔で点滅（赤）：ループ検知時

7 ループ検知スイッチ
ループ検知機能の OFF/ON を切り替えます。
※スイッチ切り替え後、電源の OFF/ON をしてください。

□ ACアダプター……1個
□ ゴム足……1式(4個)
□ マグネット(本体に装着済み)……1式(2個)
□ 安全にお使いいただくために必ずお守りください(保証書付)……1枚

※保証書は、「安全にお使いいただくために必ずお守りください」に印刷されています。修理の際は、必要事項を記入のうえ切り取って、本製品と一緒にお送りください。
※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

設置

■ 設置上の注意

・ぐらつく台の上や傾いた場所など、不安定な場所には設置しないでください。
・本製品の上に、本製品や発熱する物を載せないでください。
・ケーブル類は足などが引っかからないように配線してください。
・他の機器や壁などで、本製品の通風口をふさがないでください。
・電源ケーブルは必ず本製品に付属の物を使用してください。他の製品の電源ケーブルは仕様が異なるため、本製品の故障や火災の原因となるおそれがあります。

■ 床やスチール製デスクの側面などに設置する場合

床に設置する場合は、本製品底面の四隅に、付属のゴム足を貼り付けて設置してください。スチール製のデスクの側面など金属部分に設置する場合は、付属のゴム足を貼り付けて、本体添付のマグネットで設置してください。

■ 壁に取り付ける場合

壁への取り付けは、右図のようなネジを使います。壁にネジを固定して、本製品底面の取り付け穴を引っ掛けてください。
※本製品を梱包している箱の 側面(内側)には、壁に固定するネジの間隔の目安が印刷されています。

注 意
・付属のマグネットにはフロッピーディスクや磁気カードなどの磁気記憶媒体を近づけないでください。データが消失・破損することがあります。
・マグネットでスチール製デスクの側面などに設置する場合は、付属のゴム足を貼り付けてください。

ループ検知機能

本製品は、ネットワークに障害を及ぼすネットワークのループを検知し、ランプで通知する機能を搭載しています。

■ ループとは

LAN ケーブルの両端を同じハブに接続したり、ハブをループ（円環）状に接続したりすることで、ネットワーク内をデータが循環し続けることです。データが循環し続けると通信に障害を及ぼし、通信ができなくなる場合があります。

■ ループ検知機能の動作

ループ検知機能 OFF の場合：ネットワークのループを検知しません。
ループ検知機能 ON の場合：ネットワークのループを検知すると、1 秒間隔で本製品前面のループ検知ランプ、リンク / アクティブランプ、スピードランプが点滅します。

■ ループ検知機能の OFF/ON の切り替え方法

1. 本製品前面のループ検知スイッチの OFF/ON を切り替えます。
2. 電源ケーブルをコンセントから抜いて、差しなおします。

※電源の OFF/ON を行わないと設定が反映されません。

■ ループを検知したとき

配線がループ状にならないようにつなぎ直してください。
※ループ検知時、ループ検知スイッチを OFF にしてもループ検知ランプは点滅します。

注 意
・ループ検知機能が ON の場合、定期的（約 2 秒間隔）に本製品からループ検知パケットを送信します。ループ検知パケットを送信したくない場合は、ループ検知機能を OFF でご使用ください。
・ループ検知機能は、全てのループの検知を保障する機能ではありません。

ネットワークに接続できないとき

次のことを確認してください。

・本製品に電源ケーブルが接続されているか。電源ケーブルがコンセントに接続されているか。
・UTPケーブルは正しく接続されているか。断線していないか。
・リンク/アクティブランプは点灯しているか。

※リンク/アクティブランプが点灯しないときは、接続したハブやLANアダプターの通信モードを手動で100M半二重または10M半二重に設定してください。

製品仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (buffalo.jp) を参照してください。

項目	仕様
規格	IEEE802.3ab (1000BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3 (10BASE-T)
フロー コントロール	IEEE802.3x (全二重動作時) バックプレッシャー (半二重動作時)
ポート数	8 ポート (全ポート AUTO-MDIX 対応)
適合ケーブル (*1)(*2)	1000BASE-T: エンハンストカテゴリ 5 以上の UTP ケーブル 100BASE-TX: カテゴリ 5UTP ケーブル 10BASE-T:カテゴリ 3 以上のUTPケーブル
コネクター	RJ-45 型 8 極コネクター (シールドタイプ)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大 6.5W
外形寸法	146(W)×102(D)×36(H)mm
重量	300g (本体のみ)
動作環境	動作温度：0 ～ 40℃ 動作湿度：10 ～ 85% (無結露)
取得規格	VCCI classB、FCC classB

項目	仕様
伝送速度	1000Mbps (1000BASE-T) 100Mbps (100BASE-TX) 10Mbps (10BASE-T)
スイッチング方式	ストア ＆ フォワード
ジャンボフレーム	16,000Bytes(ワイヤーレート：9,216Bytes) ※ヘッダ 14Bytes + FCS 4Bytes 含む
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度 (スループット)	1,488,095 パケット / 秒 (1000BASE-T) 148,810 パケット / 秒 (100BASE-TX) 14,881 パケット / 秒 (10BASE-T)
スイッチングファブリック	16Gbps
MAC アドレステーブル	4,000 (セルフラーニング)
バッファメモリー	128KBytes
エージングタイム	約 300 秒
その他	ループ検知機能(ランプのみ)、 おまかせ節電機能(リンク、ケーブル長)(*3)

*1 本製品は、ケーブルの種類(ストレート / クロスケーブル)を、自動的に判断しますので、どちらのケーブルでも問題なく使用できます。
*2 自作ケーブルの使用は、ネットワークが正常につながらない原因となります。市販のケーブルをご使用ください。
*3 おまかせ節電機能は、ポートのリンク状態や LAN ケーブルの長さを自動判断し、使用電力を調節する機能です。